

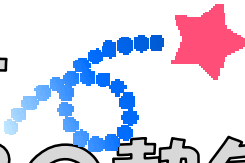
当日版!



# いけませかわらばん 第1号

2012年8月4日 いけませ夏フェス in むかわ現地実行委員会 発行

## 曇天を吹き飛ばす ボランティアの熱気



例年になく暑い日々が続いたと思っていたら、どんよりと曇った寒い朝になりました。今年もここむかわ町でいけませ夏フェスが開催されます。

むかわ町は朝からどんよりし、肌寒い風が吹く天気でしたが、夏フェスの会場となるむかわ町立鷓川中学校周辺では全道集まってきたボランティアの熱気で曇天もどこかに行ってしまうような様子です。

朝早くから準備を進めてきたボランティアの人たちも、「札幌から来ました。ボランティアは2回目ですが、今年は初めて支援をします。」(札幌市・しなだるねさん)、「初めての参加です。7ボランティアイベントを手伝います友達をたくさん作りたいと思います。」(苫小牧市 やぎさん)と語ってくれました。



## 全道から続々 参加者が集合



(この項写真・取材は木村美貴子記者)

午前11時頃から会場となつ鷓川中学校には全道から参加者が集まりはじめました。

石狩市から来たきむらまさひろくんの母さんは「一回目から参加しています。体調が悪く大変でしたが、今年も元気に参加できうれしく思います」と話してくれました。苫小牧市から参加のきやしおりさんは「お母さんは支援ボランティア。私は8回目の参加です。楽しんでいきます。」友達とおして参加した、日高町のあいりさん、帯広市のりりかさんは着ぐるみに抱きついて喜んでいました。

また地元むかわ町のまえだとしこさんは「初めての参加です。お食事のお手伝いをさせていただきます。心を込めて作りました」と語ってくれました。

# 合で郷（ごうでごう）・・お互いに支え合う 高橋実行委員長のあいさつ

ボランティアさんの昼食も終わり、参加者もほとんど集まった午後1時、体育館で今年のオープニングセレモニーが始まりました。

高橋実行委員長は「お互いに支え合うことが本当に求められている。故郷再認識、合で郷だ。片方に寄りかからず支え合うことが大事だ。」と述べ、参加者全員にいけませの理念を訴えました。この後、いけませの歌を大合唱し、オープニングに突入。

山口むかわ町長は「タンポポ・シシャモとメロンの町へようこそ。一つでも思



い出を作ってほしい。夏フェスの開催は私たちの励みにもなります。」とあいさつしました。

現地実行委員会の松田明雄さんは「多数の参加者・ボランティアをお迎えし、開催することができ、うれしく思います。

支え合い、助け合う精神を持って、つながりと絆の輪を作ってほしい。」とあいさつをしました。

この後、ステージでは「むかわいけませゴーゴーチーム」の歌と踊りなどが披露されました。演奏などがステージで披露されました。



当日版!



# いけませかわらばん 第2号

2012年8月4日 いけませ夏フェス in むかわ現地実行委員会 発行

## いっせいにポイントラリー開始!



オープニングセレモニーが終わり、みんなはいっせいに校舎内や体育館やグラウンドなどへ飛び出していきました。ポイントラリーの始まりだ。太鼓たたき、ペタンク、むかしの遊び、マジックバルーン、トウモロコシの皮むき、フラダンス体験、ムックリの演奏など多くのゲームにチャレンジしようと参加者は張り切って出て行きました。ふくいだいきくん（むかわ町2回目）は「消防のホースで火を消しました。」がんばって消防のおじさんにも水をかけました。なかやましおりさん（札幌市6回目）は「かにをさわりました。とげとげしてました」。いしかわまことくん（小樽市何回も参加してます）は「爆弾ゲームが一番おもしろかったです」。シャカシャカを作っていたながえだなおきくん（小樽市初めて）は「すごく楽しんでいきます」と笑顔で話してくれました。おおさわゆいさん（小樽市2回目）「ムックリは音が出なくて難しいです。がんばります。」

また、体育館の中ではお母さんたちも楽しんでいました。エステの抽選に見事に当たったふじかわくみこさん（石狩市・5～6回目）は「家ではマッサージ抜き。年1回のこのエステが楽しみ。より美しくなります。」と喜びを語ってくれました。

エステを担当してくれたほしなるみさんは（江別市・5回～6回）は「自分のことがかまえない人が多いので、私が少しでもお役に立ちたい。変身してより美人になってほしい」と抱負を語ってくれました。

このほか会場ではフットマッサージや口腔ケアのブースが設けられ、参加者がそれぞれ関心のあるブースに詰めかけ真剣に相談などを受けている光景が見受けられました。





# ばんごはんはまかせなさい

今年の晩ご飯を用意してくれたのはむかわ町商工会女性部、さつき会、つぼみの会と一般ボランティアの合計 80 名以上の皆さんです。夕食を用意してくれた方々は早朝から、腕によりをかけて仕込みを行い、とってもおいしい夕食を用意してくれました。

なんと今夜の夕食のメニューはむかわ町特製のカレーライス。用意した食数は 1400 食。デザートにはこれまたむかわ町名産のメロンとトマトが付きます。

商工会女性部のふなやまさちこさんは「いけまぜは知りませんでした。2 月に高橋先生の話聞いて、いろいろな団体と一緒に参加することになりました。カレーはとってもおいしいですよ」、商工会青年部のつじたろうさんは「みんなが楽しそうなのでお手伝いできてよかった」と語ってくれました。

夕食を準備しているテントの周りにはカレーのおいしそうなおいがプンプン。さあ、食べるぞー・・・！！



当日版!



# いけまぜかわらばん 第3号

2012年8月4日 いけまぜ夏フェスむかわ現地実行委員会 発行



今年のいけまぜ夏フェスの夕食はカレーライスでした。地元のお母さんたちが朝から腕によりをかけて準備してくれたとってもおいしいカレーでした。盛りつけをしてくれた地元ボランティアのおばさんたちは大忙しのてんてこ舞い。あまりのおいしさにおかわりする子が続出するなどカレーはあっという間に売り切れました。メロン・トマトもとってもおいしかったです。



きむらりょうたくん(佐世保市・初めて)は「いけまぜに一度は参加してみたかった。カレーはとってもおいしいです」、よしかわなおさん(札幌市・3回目)は「カレーおいしいです。いまから大きな音の花火がおっかないです」、りょうたくん(札幌市・3回目)は「カレーはおいしくておかわりしました。おいしかったー!」、なりたまさたかくん(札幌市・7回目)は「カレーが足りなくてフライドポテトを食べています。シシャモも食べます」。やまだゆうきさん(札幌市・2回目)は「私は声楽を習っています。みんなの前で歌えて感動しています」、なかむらたいき・しょうきくん(富良野市・3回目)は「みんなの前で歌って気持ちよかったです」などと話してくれました。



参加者やボランティアは用意されたテーブルなどに座るなど思い思いのスタイルで夕食を楽しみました。そして、夕ご飯を食べ終わると、ミニコンサートに聞き入り、最後はヨサコイ・ソーランでしめくくりました。



## ご飯を食べたら花火だぞ

# 今日の日...楽しい思い出



当日版!



# いけまぜかわらばん 第4号

2012年8月5日 いけまぜ夏フェス in むかわ現地実行委員会 発行



夕食が終わる頃にはすっかり日も暮れ、風も一段と冷たさを増していきました。いけまぜ小僧の点灯式も無事終わり、グラウンドに集まった参加者が今か今かと花火が打ちあがるのを心待ちにしていたのですが、誰かが大きな声で「ハナビー！」と叫ぶと大輪の花火が打ちあがり始めました。



次々と打ち上がる大輪の花火が咲くたびにグラウンドに集まった人や校舎内から見物している人たちから「トッてもきれい!」「ドカーン スゴイゾー」などの大きな歓声や拍手がわき上がっていました。少し肌寒い風も見方をしてはっきり・くっきりと花火が咲いてみんなの大きな歓声の花火大会の最後まで響き渡っていました。

## さあ一寝る準備はできたかな

花火が終わると今日のイベントは全て終了。残念ながらお泊まりができずにお家に帰る参加者は修了証を受け取り家路につきました。

花火大会から戻ってきた参加者は、布団の準備をしたり、顔を洗ったり、歯を磨いたりなど、今日一日の楽しい思い出を胸にしまい込んで消灯の時間を待っていました。鷗川中学校に宿泊した参加者の中には興奮してなかなか寝付けない子もいました。また、疲れが出たのか、早々と眠りについてしまった子もいました。

きっと今晚は今日一日のおもしろかったことを夢で見るのでしょうか。



みんなの寝る頃にはしとしと降り出した雨は次第に強くなっていきましたが、朝5時頃には一度上がりました。

こばやしたすくくん（苫小牧市・5回目）は「4時から起きています。まだ眠いです。今日何をがんばるか決めていません」とだいぶ眠そうな顔で答えてくれました。

6時50分に高橋先生の「おーい起きろ、早起きは三文の得だぞ・・・！？体操するぞ」といういつもの声でみんなが起床しました。さとうはるとくん（余市町・2回目）は「タベは女の人の声がカアカア言っていました。ラジオ体操と運動会がんばります」、えんどうみやさん（苫小牧市・3回目）は「弟に負けないように走るのがんばります。」、やまうちけいすけくん（滝川市・5回目）「僕は支援・母は看護のボランティアです。掃除をがんばりたいと思います」などと抱負を語ってくれました。

体育館に集まった参加者は、リーダーに合わせラジオ体操を行いました。



## 朝はラジオ体操から



## 朝ご飯は豪華メニューだ



朝ご飯はあんパン・クルミパン・レーズンパンなど種類も豊富なパンとウィンナーとバナナの付け合わせ。飲み物は牛乳とオレンジジュースの豪華メニュー。

朝ご飯を用意してくれた地元ボランティアのゆさたえこさんは「朝早くから準備しました。疲れなんてありません。やりがいがあります」、「参加者においしく食べて欲しい」と準備の手応えを答えてくれました。うめうらかぐやさん（苫小牧市・初めて）は「ウィンナーおいしい、ユア・ハッピー」、やまもとさやのさん（余市町・いっぱい参加してます）は「ブドウパンとクロワッサンがおいしいです。閉会式でオカリナ吹きます」、いとうふみきくん（小樽市・9回目）のお母さんは「朝ご飯は特別食を作ってもらっておいしくいただいています。本人は走るのをがんばると言っています」と話してくれました。

会場ではあちらこちらから「うまい・・・！」「おいしいね」「全部食べちゃった」などの声が聞こえました。



当日版!



# いけまぜかわらばん 第5号

2012年8月5日 いけまぜ夏フェス in むかわ現地実行委員会 発行

## 体育館で運動会の始まりだ

運動会は体育館で開催されました。運動会開催をお知らせするアナウンスにつられて参加者が続々と体育館の中に集まってきました。

運動会は笛の合図で和づくりの自己紹介をすることから始まりました。きいろ・あか・あお・みどりの4つの色のグループに分かれフラダンスの準備運動をしてから競技に移りました。最初に風船運びリレーが行われ、その次に太鼓リレーと玉入れ競技が行われ、勝負が終わるたびに大きな歓声が起きていました。

さあ、みんなはがんばったのかな？



## 人と人とのつながりを共有・共感できる機会だ 松田現地実行委員長

今回の夏フェスを現地実行委員会の委員長を務めていただいた松田委員長は、夏フェスの開催に当たり「人と人とのつながりを感じるよい機会と捉え、誰もが楽しい時間を共有・共感することができる」と確信している。話していましたが、もちろん皆さんは肌寒い天気になげずにいけまぜ夏フェスを共感・共有することができたようです。



# いよいよ今年のフィナーレ

## 来年もまたお会いしましょう

フィナーレは高橋いけまぜ実行委員長の司会で始まりました。

戸舘現地実行副委員長が「5回の会議を開いてみんなで準備しました。1219名の参加を得て成功することができました。夏フェスは私たちに感動と喜びを当て得てくれました。」とあいさつしました。

参加者には一木先生から「がんばったね」と終了証書が渡され、受け取った参加者は誇らしげに家族やボランティアの人に見せていました。

### 次期開催地は余市です

来年のいけまぜ夏フェスは余市町が会場となります。むかわ町から余市町の呼びかけ人の松浦さんにいけまぜの旗が渡されました。

呼びかけ人の松浦万里子は「全町をあげて準備を待っています。来年も元気に再会しましょう」と語ってくれました。高橋先生は早くも「来年は原点復帰だ」と言っています。サケやニシンと同じように来年は余市町に《帰りましょう!!》。

参加者一人一人がいろいろな思い出を作って今年のいけまぜが終わりました。「とっても楽しかった」などとフィナーレの会場では楽しかった思い出を話し合ったり、来年の再会を約束しあったりしていました。

帰り支度を済ませた参加者はそれぞれバスや自家用車で家路につきました。



## 来年、余市町で再会しましょう・・・!

